

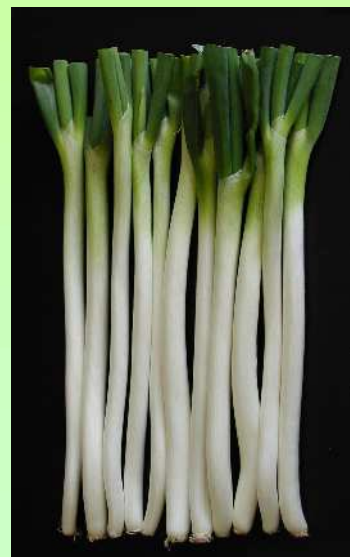
根深ねぎの新品種

「湘南一本」(しょうなんいっぽん)」

昭和35年本県育成の良食味品種「湘南」が生まれ変わりました

神奈川県農業技術センターでは、厚木市山際の専業農家、野路稔氏と共同で「湘南一本」を開発・育成しました。やわらかな食感に優れ、他品種とひと味違った食材を食卓に提供できる新品種です。

(2005年新品種登録申請)



昭和35年に本県で育成されたねぎ「湘南」は、食味が良く人気がありましたが、葉が太く折れ易いなど、生産の難しさが敬遠される要因となっていました。

「湘南一本」は、10年余りをかけ「湘南」の改良を続けて誕生しました。

食感は甘くやわらかで、鍋物やすき焼きなどの食材に適していますが、葉折れは「湘南」に比べて少なく、収穫期の生育も良くなっています。

生産し易さが格段に向上しており、試験栽培に協力頂いた生産者からも好評を頂いています。



「湘南一本 (KNS21)」(左)は「湘南」(右)に比べ葉折れが少ない